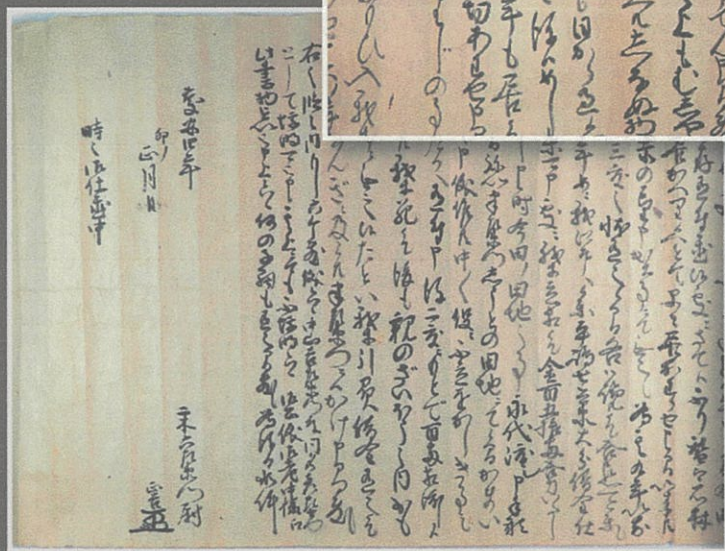
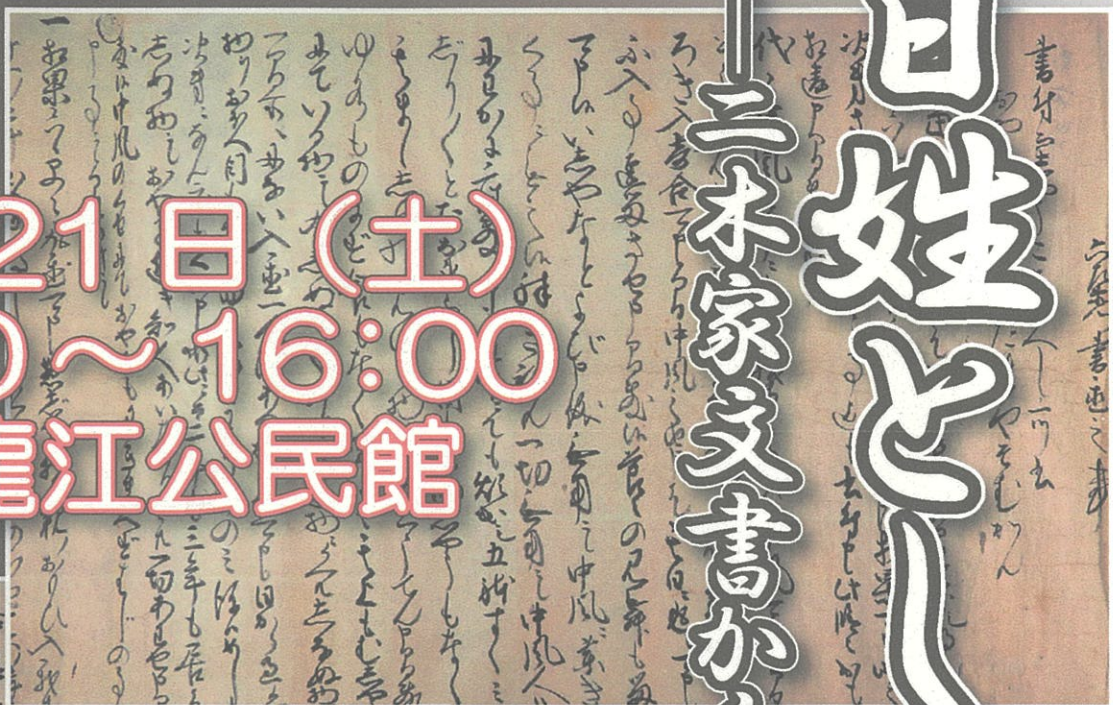


百姓としての自覚

二木家文書からみた兵農分離

講師 吉田ゆり子

(東京外国語大学／歴史研究所顧問研究員)



10月21日(土)
14:00～16:00
会場 龍江公民館

「今田村壺人百姓」として知られる二木六左衛門家文書が、2021年度、飯田市歴史研究所に収められました。この文書群を紐解くことで、龍江から千代に及ぶ地域の歴史を明らかにすることができます。加えて、「百姓としての自覚」ともいえる身分意識が表出した慶安4(1651)年の遺言状は、江戸時代の身分社会の形成を考えるためにも、たいへん貴重で興味深い史料です。今回の講座では、二木家文書の紹介をしながら、とくにこの遺言状に注目し、二木家が百姓身分として今田村に本拠を定めた経緯と身分意識を読み解いていきます。

<申込み>

10月19日(木)までに、電話・FAX・メールのいずれかでお名前と電話番号をお知らせください。